

社協

おうみはちまん

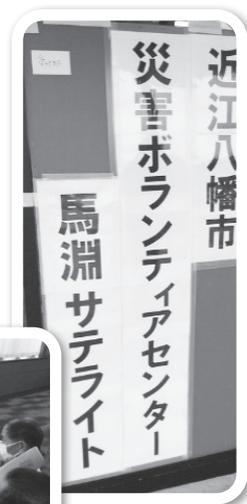
災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました!

▽千倍供町内の被災状況を確認するため、2班に分かれて被災地ニーズを把握



▽ボランティアの皆さんに被災地ニーズを説明し、割り当て調整を行う

▷被災者などから問い合わせに対する対応の協議



◁馬淵コミュニティセンターに災害ボラセンサテライト(中継所)を設置しました。

11月23日、降りしきる雨の中、災害ボランティアセンター(以下「災害ボラセン」という。)設置運営訓練を実施しました。災害ボラセンは、被災した地域の行政、社協やボランティア活動に関わっている団体などが協働して担い、主として、被災地でのニーズの把握、ボランティアの受け入れ、人数調整・資機材の貸し出しなどを行って、活動の実施を調整する組織で、3月に近江八幡市と設置運営協定を締結したものです。

この日の1週間前、鈴鹿西縁断層帯を震源とする大規模地震が発生し震度7を観測し、建物の倒壊、火災の発生、液状化の発生、ガス・水道・電気等ライフライン施設、道路、堤防の破損などがあり、多数の死傷者が発生したとの想定で、被災者の生活再建のため、市災害対策本部は社協に対して「災害ボラセン」設置の要請を行いました。

災害ボラセン設置運営訓練(関連記事は2、3ページ)は、本部を総合福祉センター(ひまわり館)、サテライトとして馬淵コミュニティセンターに設置し、コーディネーション訓練(被災地ニーズとボランティアを調整)とコミュニティマッチング訓練(被災地ニーズの把握)を実施しました。

年頭のあいさつ・災害ボランティアセンター設置運営訓練について	2	高齢者疑似体験・更生保護女性会について	6
災害ボランティアセンター設置運営訓練・学区社協交流会について	3	賛助会費・ヘルパーステーションあづちについて	7
ふくしでまちづくり座談会・「地域福祉の推進に」と寄付	4	お知らせ(心配ごと相談・善意銀行など)・ボランティアグループの紹介	8
ボランティア交流会・虐待防止研修について	5		



社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会

ホームページ <http://ohshakyo.or.jp/>

近江八幡市土田町1313 TEL: 0748-32-1781 FAX: 0748-36-6910
E-mail: ohshakyo@gmail.com



ホームページはこちら

年頭にあたって



市民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。お健やかに、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、社協事業の各般にわたり、ご指導ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの蔓延とロシアによるウクライナ侵攻の大きな事件の一年でありました。私たちの小さな力ではどうしようもない出来事ですが、社協といたしましては、新型コロナウイルス感染症自宅療養者への緊急食糧等支援事業「困ったときはお互いさん便」を実施したり、近江八幡市と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を締結、同センター設置運営訓練を行い災害に備えたりしました。また、今後5年間の第3次地域福祉活動計画を策定し、各学区での「ふくしでまちづくり座談会」などで計画の概要を推し進めました。なお、永年、通所介護事業として展開しておりましたデイサービスひまわりサテライト（旧デイサービスきらめきあづち）を閉所いたしました。また、デイサービスひまわりへの一体化を図りました。

本年も引き続き、見守り支えあい活動を推進して、「生まれて来ておめでとう」から「生を終える時ありがとう」と、そして「無縁の慈悲」を基本とした社会環境づくりに邁進してまいります。事業についての理念や目的・カテゴリーをもって「地域福祉の推進」に向け一層努力してまいりますので、今後ますますご支援ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

令和5年1月1日

近江八幡市社会福祉協議会長 畷本 深 照

災害ボランティアセンター本部・サテライト設置運営訓練

昨年3月に近江八幡市と近江八幡市社会福祉協議会で『近江八幡市災害ボランティアセンター（以下「災害ボラセン」という。）の設置・運営に関する協定』を締結しました。大規模災害が発生したら、近江八幡市災害対策本部からの要請で、社協が外部支援機関と協働しながら災害ボラセンの設置運営を行うこととなります。災害ボラセンには様々な相談が寄せられます。本訓練は、災害が起こったときによりスムーズに災害ボランティアの受け入れ調整がイメージできるように、住民参加のもとで実施しました。

（馬淵学区をモデル学区に実施）



受付班：密を避ける動線を試行錯誤しました。



参加者は、馬淵学区災害対策本部をはじめ、各学区社協会長、災害ボラセン運営連絡協議会委員、行政、野洲市社会福祉協議会など66名でした。ボランティアの受付、ボランティアへのオリエンテーション、支援内容の調整、資機材の用意、現地への送り出しなど、一連の流れを「運営役」「ボランティア役」に分かれて体験しました。

災害ボラセンに寄せられた困りごととボランティア活動者とのマッチングの模擬訓練を行いました。

←次ページへ続く



馬淵学区内の東川町、千僧供町の協力を得て、自治会長・民生児童委員・みまもり委員らがどのような災害が想定されるかと町内を巡回。高齢者世帯等数軒を訪問し、普段の困りごとや災害時に想定できる困りごとをお聴きしました。

今回の訪問では、避難所から離れているため避難が難しく、家で待機するしかないかもしれないという声。また大きな災害は今までに経験したことがないため、どうすれば良いかわからないという声を聴くことができました。

災害を想定した困りごとなどの聞き取り訪問

今回の訓練は、初めてで、先駆的・実験的訓練として、大規模な訓練との評価もいただきました。

被災すると、多かれ少なかれ心身の疲労と混乱の中、自分の被災状況を正しく理解・判断することが難しくなります。公的支援をはじめ、どこに何を頼めばいいのかわからず、困惑する人も多いと思います。そんなときに、普段顔を知っている地域の人から声をかけ、困りごとをキャッチすることで必要な支援により早くつなげていくことの必要性を皆で共有しました。次回に繋げていきたいと思っております。

訓練参加者の主な意見は、次のとおり。

- ・受付からオリエンテーション、マッチング、ニーズの集約をそれぞれ経験したことは非常に有意義でした。
- ・雨の中本当の災害のような気持ちで地域を回ることができ、歩いて避難所までが遠いことの実感や町内の家屋の古さに地震のときはとても怖いと感じました。
- ・災害時、地元の日ごろの活動から得られる情報がとても重要なことが改めて分かりました。

学区社協交流会

11月10日午前・午後の2部に分かれて令和4年度学区社協交流会を開催しました。

第3次地域福祉活動計画のテーマにもある、「身近な地域で困りごとをキャッチするために地域と専門職が協働するしくみづくり」について、高島市社会福祉協議会の包括的支援体制と朽木住民福祉協議会から講師をお招きし先進実践事例のお話を伺いました。

「一人の困りごとをみんなの課題に」という思いから幅広い関係者に呼びかけをしたことに始まり、活動、振り返り、話し合い、の繰り返しで現在の体制を作り上げた、という熱い思いを聞かせていただきました。このお話を元に各学区社協の役員のみなさんがグループワークを行い、感じたことや思いを出し合いました。この学び（困りごとをみんなで）を今後の見守り支え合い活動に活かしていただけたらと思います。



「今後の見守り支え合い活動に活かしたい」とグループ討議



八幡西中学校の生徒さんから寄付を受けました

十二月一日、桐原学区青少年育成学区民会議から、14,450円を赤い羽根共同募金に募金。桐原学区文化祭で、桐原・桐原東小学校及び八幡西中学校の児童・生徒たちが「ポップコーンのバザーを行い、その売上金を。木田充氣さん（西中三年・生徒会長）・佐藤花穂さん（同副会長）らが社協を訪れ、赤い羽根共同募金に寄付し、「何かのお役に立てれば」と話してくれました。

バザー売上金を募金して
いただきました！

「ふくしでまちづくり座談会」老蘇・北里を開催しました。

各学区で「ふくしでまちづくり座談会」を開催しています。

座談会は、幅広い分野や年齢層の人に地域福祉の推進に関わってもらうために、地域の多様な分野別ボランティアや企業、福祉事業所、行政等に声をかけ、第3次地域福祉活動計画の共有の場作りを行うこと、また地域のあらたな「出会いの場」で顔見知りを増やし、より多くの層に地域福祉の関心を広めることを目的としています。5～6人のグループに別れ、それぞれ関心のあるテーマを選び意見交換を行いながら交流しました。今後も学区の福祉活動に対し、「自分のできることで協力したい」など前向きな意見も多く大いに盛り上がる座談会となりました。ご参加いただいたみなさんの思いを今後の福祉活動に活かすことができればと思います。

11月24日 老蘇学区

今年度から安土地区社協から老蘇学区社協へと新たにスタートした学区社協は、地元在住の福祉施設職員、市職員や市域で活動されている福祉活動者、学校関係者の方々が地域の活動者を交え22名が和やかな座談会の時間を過ごしました。



【老蘇学区】大林学区社協会長から学区の課題と方向性の説明

11月25日 北里学区

今年学区内に新たに開設された福祉施設をはじめ福祉事業所、放課後デイサービス事業所や作業所、学校、地元交番の警察官、市職員他多方面の方々も地域の活動者に交じって参加され、普段は機会がない地域と専門職との顔合わせができ、ともに地域を盛り上げようと有意義な座談会となりました。



【北里学区】テーマを選んでグループに分かれての話し合い

「地域福祉の推進に」と寄付。大切にに使わせていただきます!

第12回近江八幡商工会議所・安土町商工会合同地域福祉チャリティゴルフコンペのチャリティを寄付!

11月18日、12回を迎えます地域福祉チャリティゴルフコンペを開催。毎回、チャリティを寄付いただいております。尾賀康裕大会長（近江八幡商工会議所会頭）から目録とチャリティ金（金159,500円）を。

生活困窮者への食糧支援や子ども食堂、地域福祉の推進に使わせていただきます。



尾賀大会長から寄付目録を受ける

かんき建設リボン倶楽部が30万円の寄付!

11月25日、株式会社かんき建設 かんき建設リボン倶楽部（皆黒幸男会長:50社を超えるグループ会社）は、「設立50年を節目に」と30万円を寄付。寫本会長から「いろんなことでご援助いただき、大切にに使わせていただきます」とお礼を。



皆黒会長から寫本会長へ30万円の寄付を

令和4年度 ボランティア交流会を開催しました。



議論の前に予備運動（アイスブレイク）

11月15日、令和4年度のボランティア交流会を開催しました。

今年度も、感染予防対策のために、人数を制限したうえでの募集とさせていただきますが、交流会当日は38団体52名という沢山のボランティア団体の皆さんにご参加いただきました。今回は外部からファシリテーターをお呼びし、初めての参加の方でも参加しやすいように全体の進行をお願いし、3団体のボランティア団体の活動紹介のあと、会場を広げて十分に空間をとったうえで、皆さんグループとなって交流をしていただきました。

参加者の皆さまからは「いろいろなグループの方とお話しできてとても濃い時間でした」「たくさんの出会いがあり時間が足りないくらい話が盛り上がった」「いろいろなボランティア団体の事を知る機会となり皆さんが前向きに活動されているお話を聞かせていただけて私自身の活動を続けていくための力をいただきました。」といったボランティア活動の魅力や「ボランティアグループの会員の高齢化」「活動の継続にかかる費用の問題」「ニーズに合った活動をすることの難しさ」など、困ったことについても様々な視点から意見交換をすることができました。

今後このような機会を設け、つながり作りや活動の活性化などを図っていきます。ボランティアに関するご相談、お問合せは近江八幡市ボランティアセンターまで。



ボランティア活動の魅力や課題などで意見交換

虐待に目を光らせます 「虐待防止」職員研修を実施！

社会福祉協議会は、高齢者のデイサービス（通所介護）・居宅介護支援（ケアプラン）事業や障がい者の相談支援事業などを行っています。昨年4月から障がい者の相談支援事業で「サービス提供をする事業所に虐待防止の措置の義務化」がなされたことから、社協内に虐待防止委員会を発足し、11月17日「虐待防止研修」を実施しました。

研修は、大津市権利擁護サポートセンターから講師を招き、「どこからが虐待なのか」と迷うことではなく、「感じる感性を磨くこと、そして放置しないことが大切である。」とか、「虐待防止の近道は虐待の芽を摘むこと、職員がしているケアを説明できるように」と学びました。

目を光らせます！各種サービスを提供する職員の虐待防止だけでなく、虐待を見聞きする立場に近いところから、通報義務を課せられる職員自ら「虐待防止」に努めます。

『安心整備で 安全運転を！！。』

竹内モーターズ・グループ



(株)竹内モーターズ
近江八幡市出町429-7
TEL：0748-33-2266

(株)ホーコー
近江八幡市若宮町213-3
TEL：0748-37-3048



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
GEM代理店 株式会社スマイル&マインド

〒523-0892
近江八幡市出町416-13
電話番号 0748-36-2190
FAX番号 0748-36-2191

高齢者疑似体験の出前講座をしています!

アイマスク体験・車椅子体験などの福祉体験

高齢者になるってどんなこと??

子どもたちが、道具・用具などを装着し、現在の年齢から50～60年以上将来の高齢者の身体動作を体験しました。普段の体の状態との違いを感じながら高齢者になるとはどんなことなのか、自分にできる事は何なのかなど考えながら体験し、思いやる心を育む機会となりました。



▲白内障視野狭窄ゴーグルと両足におもりを付けて、階段を昇り降りする体験をする八幡高校3年生



▲ゴーグルを付けて、腰をまげ高齢者疑似体験をする北里小学校4年生



▲ゴーグルをはめて、標識を識別体験をする馬淵小学校3年生

～更生保護女性会ってご存じですか!～

近江八幡地区更生保護女性会

更生保護女性会は、女性の立場から、地域の犯罪予防活動や更生支援（犯罪をした人や非行のある少年の、再犯を防ぎ、非行をなくし、自立・改善更生することの支援）を行うボランティア団体です。

だれもが人として尊重され、心豊かに生きられる明るい社会を目指して、地域でのミニ集会開催や子育て支援の活動など更生保護に努め、多様な活動をしておられる「近江八幡地区更生保護女性会（中江初子会長：会員296人）」の活動をご紹介します。

◎70年の節目を祝う 記念大会を開催!

昭和27年7月発足から今年で70年を迎え、結成70周年記念大会（5月26日）を会員や関係者など約110人の参加のもと盛会裏に開催。大会は、永年更生保護活動にご尽力いただいた方への感謝状贈呈や来賓の祝辞のあと、不登校を経験したことがきっかけで結成した湖国のロックバンド「ジェリービーンズ」がライブ演奏を披露。中江会長から「新しい気持ちで80周年に向かって活動を前進させたい」と今後の活動に期待を込めました。



結成70周年記念大会!

◎主な活動

・更生保護活動として

更生保護施設（刑務所、ダルク（薬物依存症を回復支援・サポートする施設）、好善会（非行や罪を犯した者の社会復帰を支援する施設）に慰問や寄付（会員から不用品バザーでの収益金など）。

・犯罪・非行防止活動として

ミニ集会活動（「生きづらさを訴える人たちに何ができるか」を考える）の開催、社会を明るくする運動やあいさつ運動に協力

・子育て支援活動として

子育てサロン、子ども食堂や登下校の見守り活動に協力

更生保護ボランティアに興味のある方は、総務課(☎32-1781)までお問合せを!

賛助会費にご協力いただいた皆さま、
たいへんありがとうございました。

合計 419,500円

※敬称略順不同

- | | |
|---------------|-----------------|
| 八幡学区社会福祉協議会 | 近江八幡地区更生保護女性会 |
| 金田学区社会福祉協議会 | 株式会社ライフ |
| 北里学区社会福祉協議会 | 有限会社塚又商店 |
| 武佐学区社会福祉協議会 | 株式会社トヨタレンタリース滋賀 |
| 老蘇学区社会福祉協議会 | 有限会社草津介護センター |
| 島学区まちづくり協議会 | 高木富砂子 |
| 岡山学区まちづくり協議会 | 堀川貞雄 |
| 北里学区まちづくり協議会 | 石田幸代 |
| 武佐学区まちづくり協議会 | 矢野王子 |
| 老蘇学区まちづくり協議会 | 近江八幡市手をつなぐ育成会 |
| 八幡学区自治連合会 | 八幡学区民生委員児童委員協議会 |
| 島学区自治連合会 | 島学区民生委員児童委員協議会 |
| 馬淵学区自治連合会 | 岡山学区民生委員児童委員協議会 |
| 北里学区自治連合会 | 金田学区民生委員児童委員協議会 |
| 武佐学区自治連合会 | 武佐学区民生委員児童委員協議会 |
| 老蘇学区自治連合会 | 馬淵学区民生委員児童委員協議会 |
| 株式会社竹内モーターズ | 北里学区民生委員児童委員協議会 |
| 株式会社湖光ケア | 安土学区民生委員児童委員協議会 |
| 株式会社スマイル&マインド | 老蘇学区民生委員児童委員協議会 |
| 近江八幡市赤十字奉仕団 | ヴォーリス老健センター |
| 近江八幡市安土赤十字奉仕団 | 近江八幡市役所職員 |
| 近江八幡市身体障害者厚生会 | 近江八幡市立小学校職員 |
| 社会福祉法人サルビア会 | 近江八幡市立中学校職員 |
| グリーン近江農業協同組合 | 近江八幡市社会福祉協議会職員 |
| 三原康郎税理士事務所 | |

ヘルパーステーションあづち（訪問介護・居宅介護）の取り組み

ヘルパーステーションあづちは、安土町総合支所東側に事務所があり、介護保険法に基づく「訪問介護事業」と障害者総合支援法に基づく「居宅介護事業」を行っています。今回は「ヘルパーステーションあづち」についてご紹介いたします。

【住み慣れた家で暮らしていけるように】

家族の負担を軽減し、困りごと（排泄、入浴等）を支援しています。

いつまで続くかわからない介護、手助けを求めてもいいのです。

ヘルパーは要介護者を抱えておられる家族・要介護認定を受けておられる方・障がいをお持ちの方の暮らしを支える仕事です。



ヘルパーが訪問をする中で、糖尿病が持病だと言われる方が多くおられます。

そこで今回は、糖尿病があり、食事制限のある方の食事について紹介します。

ポイント◎糖尿病の人は食物繊維をしっかり摂る

食物繊維には血糖の上昇を緩やかにする働きがあるので、積極的に摂りましょう。過度に糖質を制限すると、低血糖になるリスクが高まるので注意。

（食物繊維を多く含む食品）野菜、きのこ、豆類、海藻など

例えば

…糖尿病だからと食事全体の摂取量を控え「お粥と少量のおかずだけ」という食生活。

その結果、エネルギーもたんぱく質も全く足りておらず、食事面を見直しました。

- ① お粥をご飯に変更 …… 水分が多いお粥よりご飯の方がエネルギー量が多いので、ご飯を食べてもらう。
- ② たんぱく質をしっかり摂る 筋肉量を維持し、エネルギーを確保するため、特に肉や魚、卵などの動物性の食品を積極的に摂る。
- ③ 食物繊維を摂る …… 血糖上昇を抑えるため、食物繊維の豊富な野菜や豆類のおかずを1品は摂る。
- ④ 1日1ℓは水分を取る …… 食事の摂取量が少ないと、水分も十分に摂れていないことが多いので、脱水予防を意識します。

参考文献 へるばる 2022 9・10月号

心配ごと
相談所



どこに相談すればよいのか・・・。
そんな時は、近江八幡市社会福祉協議会へお気軽にご相談してください。

相談日：平日の偶数日（祝日を除く） 13時～16時
場所：総合福祉センターひまわり館

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

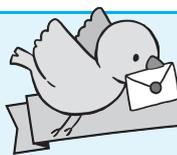
2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

ありがとうございます！



善意銀行便り

令和4年10月1日～令和4年11月30日

心温かいご寄付をいただきました。皆さまのご厚意に感謝申し上げます。
社会福祉や地域福祉活動に活用させていただきます。

(敬称略・順不同)

預託

◆寄付金

- 藤田花・愛……………1,500円
- パソコンを通じ社会に役立つ会……………8,000円
- 近江八幡商工会議所安土町商工会合同地域福祉チャリティゴルフコンペ……………159,500円
- 株式会社かんき建設
かんき建設リポーン倶楽部……………300,000円
- 匿名3件……………205,000円

◆寄付物品

- パソコンを通じ社会に役立つ会……………じゃがいも約4kg
- 土田町成和クラブ……………タオル51枚
- 匿名18件……………米247.5kg、もち米2kg、食料品54点、寝具7点、衛生用品4点、日用品28点、台所用品9点、バス用品2点

払出

◆払出物品

- 生活困窮者… 食料支援4件、日用品4件
- 子ども食堂5力所… 米2kg、もち米2kg、食料品29点、食材6kg
- 障害者支援事業所8力所… 米240kg

こんにちは。元気ですか！「笑い」は最高の薬！

あづち地区サロン活動金曜会

あづち地区サロン活動金曜会（林桐子会長）は、安土全域の高齢者の居場所づくり活動開始5年目。高齢者への情報発信を大事にしたいと「つながる通信」を発行し30号を数え、毎月第1・3金曜日に活動しています。感染症対策を取りながら、この日（11月4日）は、34人の高齢者が参加。「笑いは最高の薬」、竜王町から防犯ボランティア「ひょっこりひょうたん島（大前セツ子村長：9人のメンバー）をお呼びして、ボランティアグループの皆さんから、歌あり演芸ありと、高齢者のオレオレ詐欺防止の二人羽織の寸劇で、参加者の皆さんから、大きな拍手と大きな笑いが、笑いで元気をもらいました。コロナ禍で、人とのつながり、社会とのつながりが薄れてくる昨今、このような活動・取組みが大きくなりますように！



防犯について楽しみながら学ぶ、参加者！

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様お正月はいかがお過ごしですか。2023年が皆様にとって、笑顔があふれ、うさぎ年にちなんで、益々飛躍の1年になりますように心からお祈り申し上げます。まだまだ寒さの厳しい季節ですが、暖くなる春先まで、どうぞ心も体も、お健やかに過ごして下さい。

本年も変わらず皆様のお役に立てればと願っております。また、多種多様な情報を皆様にお届けしてまいりますので、ご愛読の程よろしくお祈りいたします。

この広報紙は会費と共同募金の助成金でつくられています



- インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷

ふくしのお困りごとは
市社協まで！ 0748-32-6111